

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：県民生活行政費

事業名 **新** 犯罪被害者等支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民生活課 交通安全・コミュニティ係

電話番号：058-272-1111 (内 2391)

E-mail：c11261@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,964 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	8,964	0	0	0	0	0	0	0	8,964
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

犯罪被害者及びその家族 (以下、「犯罪被害者等」という。) は、これまで社会の中で適切な援助を受けられず孤立してきた。ある日突然、犯罪に巻き込まれた犯罪被害者等が受けた被害の回復・軽減や犯罪被害者等の生活の再建を図るとともに、犯罪被害者等を社会全体で支え、県民が安全に安心して暮らすことができる社会を実現する必要がある。

そのため、令和4年3月に策定予定の岐阜県犯罪被害者等支援計画に沿って、犯罪被害者等に適切な支援を途切れることなく提供する体制の整備、特に困難を抱える法的・精神的・経済的支援や県民の正しい理解を促す広報啓発事業を実施する。

(2) 事業内容

①犯罪被害者等支援体制整備事業

- ・総合支援窓口の充実 (支援コーディネーターの設置)
- ・市町村相談窓口に対する支援
- ・犯罪被害者等支援調整会議の開催
- ・専門家 (弁護士・臨床心理士) による無料相談

②犯罪被害者等直接支援事業

- ・犯罪被害者等支援ノートの作成

③ 犯罪被害者等を支える社会づくり事業

- ・ 人材育成研修（支援に興味のある方、支援員に興味のある方、市町村支援担当職員向け研修）、二次的被害防止啓発研修の開催
- ・ 二次的被害防止リーフレットの作成

④ 犯罪被害者等支援計画推進委員会開催事業

犯罪被害者等支援計画の推進状況を検証するため委員会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県犯罪被害者等支援計画に基づき必要な各種支援事業を実施する。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	983	検討会委員
旅費	569	職員旅費、費用弁償
役務費	20	郵送料等
消耗品費	45	コピー代
委託料	7,089	総合支援窓口業務、人材育成研修、リーフレット制作
使用料	258	
合計	8,964	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

【「清流の国ぎふ」創生総合戦略】

2 健やかで安らかな地域づくり

(2) 安らかに暮らせる地域

3 犯罪・交通事故防止の推進

(2) 他県の状況

43 都道府県で犯罪被害者等の支援に関する条例（盛込型含む）を制定しており、その条例に基づいた事業を実施している。

(3) 後年度の財政負担

犯罪被害者支援策の検討状況を見ながら事業内容について検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

犯罪被害者等に対する県民の理解と協力を促し、地域全体で犯罪被害者等を支える、安心して暮らせる地域をつくるため、県がその主体的役割を強く発信することが妥当である。

事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 犯罪被害者等を支えていく県民の気運の醸成を図り、犯罪被害者一人一人に寄り添ったきめ細やかで充実した支援に、関係機関をはじめ、社会全体で取り組み、安全で安心して暮らせるまちづくりを進める。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2 年度	R3 年度	R4 年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R5)	
① 人材育成研修参加人数 (累積)	/	/	30 人	100 人	160 人	%

○指標を設定することができない場合の理由

(前年度の取組)

令和 2 年度	
令和 3 年度	<p style="color: red; margin: 0;">令和 5 年度当初予算にて追加</p> <p style="margin: 0;">指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>
令和 4 年度	<p style="color: red; margin: 0;">令和 6 年度当初予算にて追加</p> <p style="margin: 0;">指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>犯罪被害者等は、犯罪等による身体的、経済的などの直接的な被害にとどまらず、心身の不調や生活上の問題、周囲の配慮に欠けた対応による二次被害など幅広く苦しめられる問題が生じており、犯罪被害者等の支援策の充実は必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) —	<p>人材育成に関しては、県内各地に支援の輪を広げていく必要がある。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) —	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 犯罪被害者等支援は、今まで支援が遅れていた分野で、全国的に今後支援を充実させていく流れであり、被害者等のニーズや他県の動向を注視しながら施策を検討していく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 犯罪被害者等が直面する課題は多く、ニーズと効果を検証しながら必要な施策について検討を重ねる必要がある。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	